

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク実習指導 a		選択	2	2	後期 (変則)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>社会福祉士に求められる専門職としての姿勢を養うことを目的とする。そのために、ソーシャルワーク実習に向けて実習施設・機関や地域社会等の基本理解、ソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術、個人のプライバシーの保護と守秘義務等、さらに実習記録への記録内容及び記録方法、実習計画の作成方法について学ぶ。</p> <p><概要>本講義では、ソーシャルワークの価値に基づき現場実習を想定した実践的な学びを行う。そのため、受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を繰り返し活用し理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート				
学習上の助言	社会福祉士国家試験科目とは考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[社会専門]/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワーク実習の意義について理解し説明できる。			HC(2)	
②	社会福祉士に求められる価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を理解し説明できる。			HC(3)	
③	ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し説明できる。			HC(5)	
④	実習を振り返り、自身の課題を考察し説明できる。			HC(4)	
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約 (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。実習及び実習指導の意義について学ぶ。	講義・ ディスカッション	内容の復習を行う。		2
2	実習の目的と構造について理解する。①	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
3	実習の目的と構造について理解する。②	講義・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。		3
4	実習で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術について学ぶ	講義・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。		3
5	実習分野 (利用者理解含む。) と施設・機関、地域社会等の基本について学ぶ。①	グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。		3
6	実習分野 (利用者理解含む。) と施設・機関、地域社会等の基本について学ぶ。②	グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。		3
7	実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等について学ぶ。	講義・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。		3
8	実習記録への記録内容及び記録方法について学ぶ。	講義・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。		3
9	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する。①	演習	プレゼンテーションに向けた準備を行う。		6
10	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する。②	プレゼンテーション	プレゼンテーションの振り返り、成果と課題を整理する。		4
11	巡回指導を受ける。	指導	巡回指導の内容を整理する。		5
12	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習後の評価を行う。	実習	実習総括レポートの作成を行う。		6
13	実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理と実習総括レポートを作成する。①	演習	実習総括レポートの作成を行う。		6
14	実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理と実習総括レポートを作成する。②	演習	実習総括レポートの作成を行う。		6
15	実習評価を受け、実習全体を振り返る。	グループワーク	実習全体の振り返りを行う。		5

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	15	0	45	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	20	5	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	5	25
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	25	25
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①		「実習計画書」「実習総括レポート」の作成に関する達成度等によって評価する。	✓		個別にフィードバックする。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		作成した実習計画を担当教員や実習指導者に発表する。発表内容や聞き手を意識した発表ができていないかを評価する。	✓		講義内で適宜フィードバックする。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習に向けた心構えや授業・課題に対する取り組み状況、参加状況を総合的に評価する。	✓		個別にフィードバックする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	田村 正人						
教員の実務経験	渡邊 隆文：社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。 田村 正人：社会福祉士取得後 13 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 ・社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。 						